

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

＜方針＞Hirataグループは、当社に関わるすべての人を幸福にし、持続可能な社会の構築に貢献することを目指しています。そのために、私たちは、創業の精神「綱領」に基づく、人間尊重の精神と地域環境に配慮した製品・サービスの提供を通じて、経営の透明性と健全性を確保しながら、事業成長と社会課題解決の両立に取り組みます。

＜目指す姿＞

- ・グループ全体にサステナビリティの取り組みが浸透し、事業成長と社会課題解決を果たしている。
- ・ステークホルダーの期待水準を高いレベルでクリアしている。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	水使用量の削減	実質生産高比1%/年以上の削減 2023年度 33%→2030年度 実質生産高比1%/年以上の削減(2023年度比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	健康経営の推進	健康経営優良法人の取得 2023年度取得に向けた取り組み実施中→ 2027年度取得
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	障がい者雇用	障がい者雇用率 2023年度1.47%→2027年度 2.7%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

＜パートナーシップ＞

ソニア社と業務提携基本契約締結
2021年1月18日、ソニア社との間で、集束超音波治療装置の共同開発、製造などの業務提携に関する契約を締結した。集束超音波治療装置は、肝臓がんの治療をターゲットとした製品であり、そこにHirataのロボット技術を融合させることで、患者にやさしい非侵襲的ながん治療を目指す。

その他には、「調達基本方針」をサプライヤーさまと共有し、「Hirata CSR調達ガイドライン」に沿って責任ある調達活動を行い、継続的な改善に努めている。
また、「マルチステークホルダー方針」を制定し、マルチステークホルダーとの適切な共同に取り組んでいきます。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況＞

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	CO2排出量の削減	2023年度末までに、2019年度のCO2排出量に対し実質生産高比4%以上の削減(エネルギー使用量の削減を通じ、CO2排出量を削減する)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	電力会社のCO2排出係数(基礎排出係数)の増加により目標未達成となった。	2023年 11%増加
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	水使用量の削減	2023年度末までに、2020年度の水使用量に対し実質生産高比3%以上の削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	冷却水循環装置の設定見直しが使用量の削減に繋がり、目標達成となった。	2023年 33%削減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	外国人雇用、技能実習生の活用	2024年までに実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	多様なバックグラウンドを持つ人材を積極的に採用することで、国籍や文化の違いを尊重し、多様性を高め、新たな視点やアイデアを取り入れることとなり、目標達成となった。	2023年 技能実習生2名および外国人社員2名の登用

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**